



東北大学



平成 25 年 2 月 1 日

東北大学災害科学国際研究所

～ 東日本大震災アーカイブ 語りベシンポジウム ～
「かたりつぎ」～朗読と音楽のタベ～
開催のお知らせ

東北大学災害科学国際研究所では、2013年3月1日（金）に東日本大震災アーカイブ語りベシンポジウム「かたりつぎ」～朗読と音楽のタベ～ を下記のとおり開催します。

東北大学「みちのく震録伝」では、震災で経験した記憶・記録を集め、後世に残す活動を行っております。集められた記録の中から被災地の復旧・復興、今後の防災・減災行動に資する重要なことばや思いをわかりやすいかたちに起こし、語りつぐ記憶として記録しております。その語りつぐ記憶を、俳優竹下景子が音楽とともに語る企画です。実際の体験が生き生きと語り継がれ、これからの防災、減災教育に役立てられるとともに、震災を巡る様々な物語の《語り部》を育成するプロジェクトです。

当大学の津波工学研究者今村文彦教授による講演や、「みちのく震録伝」の取り組みを柴山明寛准教授が解説するなど学際的な企画として構成しています。演奏部門では、震災後歌によって多くの希望を届けた、仙台南高等学校の学生による合唱や、地元アーティストによる演奏を予定しています。

つきましては、皆様からもこの催しを広くご案内いただきますとともに、当日、ご参加の上、紙面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

記

日時：2013年3月1日（金） 17:30～20:00（開場 16:00）

場所：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

主催：東北大学災害科学国際研究所、かたりつぎ仙台実行委員会、
復興支援コンサート実行委員会（神戸）

後援：仙台市、NHK 仙台放送局、TBC 東北放送、KHB 東日本放送、ミヤギテレビ、仙台放送、
河北新報社、読売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、産経新聞社東北総局、
朝日新聞仙台総局、FM 仙台、大人の情報誌「りらく」

協力：アーツエイド東北

特別協賛：積水ハウス株式会社

協賛：株式会社サーベイリサーチセンター、凸版印刷株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社、
国際航業株式会社、アジア航測株式会社、有限会社ブック、ステージライン株式会社

～プログラム～ 司会：六華亭遊花（落語家）

- 17：30～17：50 (1) 講演 今村文彦 （東北大学教授）
17：50～18：05 (2) みちのく震録伝の活動紹介
 柴山明寛 （東北大学准教授）
18：05～18：25 (3) 合唱 仙台南高校合唱部（OG/OB 含む）
18：25～18：45 休憩 （20 分）
18：45～19：00 (4) お話 早坂文明（曹洞宗 徳本寺住職）
19：00～20：00 (5) かたりつぎ ～朗読と音楽の夕べ～
 語り 竹下 景子 （女優）
 演奏 原田 哲男 （チェリスト）
 鷺宮 美幸 （ピアニスト）

メール申込方法：下記アドレスあてに①～④を記載の上お申し込みください。

① イベント名・希望人数、②住所、③氏名、④電話番号

E-mail：katari-tsunagu*irides.tohoku.ac.jp（* を@に置き換えて下さい）

メールでの申込締切：2013 年 2 月 26 日（火）17:00 まで（申込延長）

往復はがき申込方法：下記住所あてに①～④を記載の上お申し込みください。

送り先：〒980-8799 仙台中央郵便局留「かたりつぎ」係

往復はがきの往信面の裏に①イベント名・希望人数、②住所、③氏名、④電話番号を、返信面の表に住所、氏名をご記入のうえ、お申し込みください。

往復はがき申込締切：2013 年 2 月 15 日（金）（消印有効）

定員：1,200 名（先着順、入場無料）

※定員になり次第締め切りとなります。

[お問い合わせ先]

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門

災害アーカイブ研究分野 責任者：今村文彦（教授）

担 当：柴山明寛（准教授）

小野 円（事務補佐）

電 話 022-795-4842

メール katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp

かたりつづぐ

katari-tsunagu

朗読と音楽の夕べ



竹下 景子

東日本大震災の「語りつぐ記憶」

女優 竹下景子は阪神淡路大震災以来、ボランティアで被災者となつながら朗読会を14年続けてきました。東日本大震災を機に、このたび東北での開催は、第二回目となります。

震災の記憶と生きる希望を語り継ぐ、価値ある朗読会へぜひ足をお運びください。



原田 哲男

2013年
3月1日〔金〕

出演

- 講演 今村 文彦(東北大学教授)
- 報告 柴山 明寛(東北大学准教授)
- 朗読 竹下 景子(女優)
- 演奏 原田 哲男(チェリスト)
(元仙台フィルハーモニー管弦楽団首席奏者)
鷺宮 美幸(ピアニスト)
- 合唱 宮城県仙台南高等学校
合唱部(OB、OG含む)
- 法話 早坂 文明(曹洞宗 徳本寺 住職)
- 司会 六華亭 遊花(落語家)

開場 / 16:00

開演 / 17:30

会場 / 東北大学川内萩ホール
(仙台市青葉区川内40 TEL022-795-3391)

●公共交通機関のご案内

- 仙台駅前9番のりば「宮教大・青葉台行」または「青葉通經由動物公園循環」乗車、「東北大川内キャンパス・萩ホール前」で下車(乗車時間約15分)徒歩3分
- 仙台駅前16番のりばより「広瀬通經由交通公園・川内(宮)行」または「広瀬通經由交通公園循環」乗車、「川内郵便局前」で下車(乗車時間約15分)徒歩7分

入場無料・要申込(全席自由)

※応募による予約が必要となります。詳しくは裏面の応募方法をご覧ください。

Ustream生中継を予定
(英語スーパー付き)

主催：東北大学災害科学国際研究所／かたりつづぐ仙台実行委員会／復興支援コンサート実行委員会(神戸)

特別協賛：積水ハウス株式会社

協賛：(株)サーベイリサーチセンター／凸版印刷(株)／日本アイ・ピー・エム(株)／国際航業(株)／アジア航測(株)／(有)ボック

後援：仙台市／(N)NHK仙台放送局／TBC東北放送／KHB東日本放送／ミヤギテレビ／仙台放送／河北新報社

読売新聞東北総局／毎日新聞仙台支局／産経新聞社東北総局／朝日新聞仙台総局／FM仙台／大人の情報紙「りらく」

協力：アーツエイド東北

お問い合わせ 東北大学災害科学国際研究所 災害アーカイブ研究分野 TEL.022-795-4842

阪神淡路大震災以来、ボランティアで被災者につながる朗読会を14年間続けてきた竹下景子。

東日本大震災後、神戸有志の依頼に応え東北を開催拠点に、

今後も震災の記憶と生きる希望を語り継ぐ活動を行っていくことに快諾していただきました。

東北での第一回目は2012年3月11日に開催され、

公募による詩の朗読と全国から集まったマンドリンの大合奏、子供たちの合唱など、

参加者が一体となった追悼の時を過ごしました。

前回の実績を踏まえ、今回はより東日本大震災に寄り添った意義のある企画です。

現在、東北大学震災科学国際研究所が進めている、

災害アーカイブ研究分野のプロジェクト「みちのく震録伝」が集めた記録から、

被災者の言葉や思いを文章に起こしたものを、竹下景子が音楽とともに語ります。

また、津波工学の権威、今村文彦教授の講演や柴山明寛准教授のレクチャーによる

「みちのく震録伝」の取り組みなど、学術的な構成にしております。

3・11を契機とするこのような事業を継続することで、防災・減災教育としてメッセージを伝え、

明日を生きる勇気や希望を感じられる事業としていきたいと考えております。



— 基調講演 —

今村 文彦

(東北大学教授)



竹下 景子

名古屋市出身、東京女子大学卒業。1973年NHK銀河テレビ小説「波の塔」でデビュー。映画「男はつらいよ」のマドンナ役を3度務め、舞台などでも活躍、数々の賞を受賞。阪神淡路大震災の復興支援のために、昨年まで神戸で詩の朗読と音楽の夕べを継続してきた。



原田 哲男

桐朋学園大学在学中の1990年に葦科高原音楽祭奨励賞受賞。卒業後、2年間ドイツのマインツ大学音楽部に学ぶ。1999年から2012年9月末まで仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者を務めた。



鷺宮 美幸

第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、多くのコンクールに入賞。音楽の構造を的確に把握した上での繊細かつ大胆な表現は高く評価され、現在、オーケストラ公演のソリスト、室内楽奏者、桐朋学園大学嘱託演奏員など、国内外で活躍中。

応募方法は2つあります!

締切

2013年2月15日(金) 消印有効

※1枚で2名様までご入場できます。

※インターネットとはがきの両方からのご応募はご遠慮ください。
重複応募の場合は全て無効とさせていただきます。

応募方法

1

メールでの応募

katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp

下記メールアドレスまで、①イベント名、希望人数②住所③氏名
④電話番号をご記入のうえ、お申込みください。

応募方法

2

はがきでの応募

往復はがきの往信面の裏に①イベント名、希望人数②住所③氏名④電話番号を、返信面の表に住所、氏名
をご記入のうえ、お申込みください。詳しくは下記をご覧ください。

切手 〒980-8799	
仙台中央郵便局留 「かたりつぎ」係	この欄は 記入不要です。

往信(おもて)

返信(うら)

切手	①「かたりつぎ」係 希望人数 1人 又は2人
あなたのご住所	②ご住所
あなたのお名前 様	③お名前 ※2名で応募の場合は 2名のお名前をお書きください。
	④お電話番号

返信(おもて)

往信(うら)